

佐藤ハチ恭彦 + 織原良次

contrabass, electric bass, alto sax

fretless bass

2017 04月29日(土)

開場 19:30
開演 20:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800円 + 2drinks order

CAFE **B**EULMANS

お問合せ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



佐藤ハチ恭彦

1968年11月26日に誕生。群馬県高崎市出身。一日中FMラジオから音楽が流れる家庭に育ち、五歳からのピアノを皮切りに、(幸か不幸か、このおかげで絶対音感を得る) ギター、サクソ等様々な楽器と音楽に親しむ。高崎高校在学中は、アルトサクソ、ピアノ、エレクトリックベースと、三つの楽器を並行して演奏する。早稲田大学入学を機に、ウッドベースを本格的に弾きはじめ、在学中よりプロとして活動する。'97年には、ダスコ・ゴイコビッチ (tp) のツアーに参加し二枚のCDを録音。その他、デビッド・マッシュューズ (pf)、エリック・アレキサンダー (ts)、クリス・ポッター (sax) らの海外ミュージシャンとも共演。TOKU (flh, vo) のレギュラーバンドのベーシストとして約5年間活躍。ユキ・アリマサ (pf) トリオでの活動も5年を超える。音楽の楽しさ、美しさ、そして『自由』の素晴らしさを伝える事の出来るプレイヤーとして、多方面で高い評価を得ている。また、サクソフォン奏者としての活動も、密かに続けている…。

織原良次

1980年、埼玉県生まれ。高校時代からベースを弾き始め、大学在学中にフレットレス・ベースに転向。ジャズ研究部に所属する傍ら、都内のジャズ・スポット等で活動しはじめた。以来、独特のグルーヴを生み出す繊細な指先で、フレットレス・ベースの可能性を追求し、電化されている音色でアコースティック・アンサンブルに溶け込むことのできる数少ないフレットレスベース専門の演奏家として、ファーストコール的な存在となっている。2005年~2006年、ブラジル音楽を斬新な解釈でアプローチした伝説のユニット『Bophana』(2003年結成)でメジャーデビュー、並行してベーシスト鈴木 勲が主宰する『OMAsound』にも参加し、ジャズ・シーンに頭角を現した。サポート・メンバーとして、畠山美由紀、アン・サリー、けもの、小野リサのコンサート・ツアーなどに参加し、橋爪亮督グループ、西山 瞳トリオNHORHM、植田章敬バンド、林正樹『間を奏でる』では正式メンバーとして名を連ねる。2016年自身のレーベル<miD> 主宰し『miD』『透明な家具』『色彩感覚』の音源発表、ライブ活動などを計画している。